

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当

昭和55年4月21日 第3報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	300		
(黄鞭) <i>Dinobryon divergens</i>	300		
(黄鞭) <i>Chrysosphaerella</i> sp.	340		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	40		
(黄鞭) <i>Mallomonas reginae</i>	20		
(珪) <i>Melosira solida</i>	200		
(珪) <i>Melosira italica</i>	620	◎	○
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	260		
(珪) <i>Stephanodiscus carconensis</i>	100		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	240		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	560	○	
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	60		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	40		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	500		◎
(緑) <i>Tetraspora lacustris</i>	480		
(緑) <i>Micractinium pusillum</i>	40		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i> var. <i>mirabile</i>	40		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	20		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	1000	24.0	21.4
(珪) 珪藻綱	2080	50.0	43.6
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	500	12.0	24.2
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	580	13.9	10.9
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	4160	総体積	3.52E+06
種 類 数	18	( $\mu\text{m}^3$ )	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし \* 印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。

## 植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Melosira italica</i>	620

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Asterionella formosa</i>	560

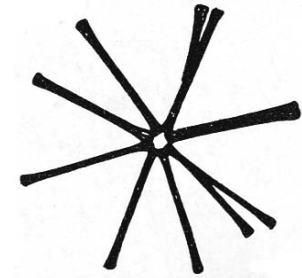
### 植物プランクトン第1優占種



***Melosira italica***  
(メロシラ イタリカ)  
珪藻綱

円筒形の細胞が連鎖群体を形成する。両端に長い剛毛を有しない。被殻はそれほど厚くない。

### 植物プランクトン第2優占種



***Asterionella formosa***  
(ホシガタケイソウ)  
珪藻綱

4~32個の細胞が端で接着し、ホシガタの群体を作る。細胞の殻面を見ると(通常は殻環面が見えている)両端が丸くなった長い棒形をしている。琵琶湖では以前から多く見られる種類である。